

2018 年度前期大学入門ゼミ 報告書

大阪フィールドワーク

訪日外国人観光客へのインタビューを試みる



表紙. 大阪城の前で記念撮影。

阪南大学国際観光学部

渡辺ゼミ

Kazuyuki Watanabe (ed.) 2018 *Osaka Fieldwork: Interview with Inbound Tourists*.
Students' Fieldwork Reports of 2018. Osaka: Faculty of International Tourism, Hannan
University.

Address

1-108-1, Amami-Minami, Matsubara, Osaka, 580-0033, Japan.

E-mail watanabe@hannan-u.ac.jp

URL <https://www.hannan-u.ac.jp/doctor/tourism/watanabe/mrrf4300000285rc.html>

大阪フィールドワーク

2018年5月27日（日）、大学入門ゼミの一環として、渡辺ゼミ1年生（男子3人、女子6人）、SA（Student Assistant）1名、教員の計11名で、大阪市内にフィールドワークに出かけた。今年は、ゼミごとに自由に日程や計画を立て、大阪の街をめぐることになった。

そこで、学生たちは自分たちで行きたい所を話し合い、計画を立てた。大阪府出身の学生のなかには、地元から近いお気に入りスポット（交野市運動公園）を紹介してくれる人もいた。だが、今年の学生は地方出身者が多かった。沖縄、島根、香川、和歌山、滋賀など、半数の学生が大阪府以外の出身だった。大阪城も、道頓堀のグリコの看板も見たことがないという人たちが半数程度いた。そこで、大阪をよく知るためにも、大阪の主要な観光地を一度見ておいた方がよいとなった。交野市運動公園は次回に持ち越されたのである。

では、どこで何をするのか。フィールドワークというのは、行ったらレポートを書かなければいけないのである。すると、学生たちは、外国人に大阪の印象をインタビューすると言うのである。では、何を聞くのか、質問を考えてくるように言うと、翌週、みなが少しずつ考えてきた。それを1つにまとめ、みなで英語に訳した。教員も直したが、どこかぎこちない英語である。そこで、イングリッシュスペースの先生に見てもらい、一味違った自然な英語になった。できあがったアンケートを50部印刷した（資料1）。

インタビューする場所も、考えておくようにと言ったら、翌週、学生たちが話し合って決めてきた。まず、大阪城、次に心斎橋に移動し、道頓堀と日本橋と新世界でインタビューするという。4地点でインタビューするのは、異なる場所で外国人旅行者はどんなイメージでそこを訪れ、どう思ったのかを聞くためだという。

結果として、大阪城、道頓堀、日本橋の3地点でインタビューを試み、11人から回答を得ることになった（日本橋で疲れ果てて新世界は断念した）。うち、大阪城では6人、道頓堀では3人、日本橋では2人であった。以下、学生のレポートを報告したい（渡辺和之）。

はじめのフィールドワーク

2018年5月27日（日）、私たち渡辺ゼミ11名は、大学入門ゼミのフィールドワークで大阪城、道頓堀、日本橋を訪れた。目的は、大阪に来る外国人が大阪の町のどこに興味を持つのか調査するためだった。

はじめに森之宮のJRの改札口で待ち合わせをして、大阪城に向かった。大阪城の中を見学し、大阪城にいる外国人観光客の人にインタビューをした。次に心斎橋からアメリカ村へ行き、昼食を食べた。午後には難波へ行き、グリコの看板の前でインタビューをした。その後、黒門市場を通過して日本橋へ移動し、二手に分かれてインタビューをした。最後に天王寺駅で好きなドリンクを一つ買って終わった（高瀬里佳子）。

大阪城

大阪城公園の入り口で写真を撮った（写真1）。インタビューしたハワイから来た家族の娘さんと写真を撮った。すごく可愛かった。大阪城にいる観光客は、インタビューをお願いすると、みんな丁寧に答えてくれて優しい人がたくさんいると感じた。逆に外人さんのほうから英語で質問された時に、それに答えることが出来なかったのが、悔しかった。

インタビューしたハワイの家族連れの娘さんと、大阪城公園の入り口で写真を撮った（友寄晃人）。



写真1．大阪城。フィールドワークのはじまり。

大阪城の観光客

大阪城は、観光地よりも観光客が多かった。なかでもツアー客が多く、外国人もたくさんいて、特にアジア(中国、韓国)の人が多くいた。私たちが声をかけた人のなかにはインタビューを断る人はおらず、温かく協力してくれる人ばかりだった。だが、大阪城は天守閣の中に入るまでの道が長く、中に入ってからエレベーターには長い列ができていた。このため、階段で一番上まで歩く人が多く、その階段も長く疲れて大変だった。そのためか、大阪城に来ている人たちは動きやすい服装の人が多かった（金子亜香里）。

大阪城の景色

大阪城で2手にわかれた。私たちは3組の観光客にインタビューをすることができた。1組目はオーストラリアから来た御夫婦である。大阪城に日本の文化を見にきたという。これから日本人形をお土産に買いたいと言っていた。2組目は韓国から来た家族連れである。たくさん日本食を食べたそうで、なかでも市場で食べた刺身がおいしかったとのことである。3組目はカナダの方で、観光地を巡っているようだ。大阪城ということもあり、文化を見に来ている人が多く、のんびりした人が多かったので、比較的インタビューがしやすかった。

私たちは博物館を見学しながら、大阪城の上まで上った。そこから眺める景色を見て、初めて中に入った人からは「すごくキレイだった」「嬉しかった」などの感想が寄せられた（古別府勢人）。



写真2. インタビューin 大阪城。

アメリカ村

アメ村には、SNS で有名なインスタ映えしそうなおしゃれなカフェがたくさんあった。でも、そうした店の多くには順番待ちの列があった。アメ村で二組に別れて、昼食をとる

ことにした。軽くご飯を食べたい組はたこ焼きを食べて、座ってゆっくり食べたい組はハンバーグを食べた。また、女子より女子力のある約一名の男子は、食後に台湾タピオカジュースを飲み、その上に豆乳抹茶プリンまで食べていた。おいしかったそうだ(岩谷綾華)。



写真3. 三角公園で記念撮影。



写真4. タピオカミルクティーin アメリカ村。

道頓堀

まず、道頓堀のグリコの看板のある橋の上でインタビューしようと話しかけてみた。だが、人が多いせいか、立ち止まってくれる人すら滅多にいなかった。このため、大阪城に比べ、インタビュー数がとても少なくなってしまった。道頓堀は日本の中でも上位に入る観光地で、人がとても多く、まっすぐに歩くことすら難しい場所である。確かにその場所でどこの誰かもわからない人にインタビューを求められても、親身になって話を聞いてくれる人はなかなかいそうに思えなかった。だが、勇気を出して、インタビューを試みると、3人の方がインタビューに答えてくれた。

1人目は、インドネシア出身の方で、休日に日本を訪れたらしい。大阪を訪れての印象は「人の通りが多い」ことだという。また、日本に来て、ラーメンと焼き肉とうどんを食べたそうだ。

2人目の方は、オーストラリア出身でショッピングと食べ物を目的に日本を訪れたらしい。日本来日の決め手は YouTube という。また、印象に残ったことは「空港で並ぶ列が長い」らしい。お土産には日本茶を買うという。

3人目の方は、アメリカからの訪日外国人である。この方は日本語を習っているらしい。大阪の印象を訪ねると「カラフルで人が多い」と答えた。また、日本に来て食べたものはパフェだそうだ。

アメリカ村ではインタビューはしていないが、飲食店や服屋が多く、若者で多くを占めていた。また、ミュージックステーションなどの取材も来ていて、東京から見ても大阪は、人気スポットと意識されていることがわかった（林渚紗）。



写真5. 道頓堀のグリコ前でインタビュー。

黒門市場

黒門市場ではアニメ系の店がある日本橋より外国人が多く、ほとんどの外国人が海鮮系の食べ物を食べ歩きしていた。だが、黒門市場の食べ物は例外なく値段が高い。海鮮丼の店でウニ丼が特に美味しそうだったけど、高くて買えなかった。また、意外と海鮮だけではなく、肉系、スイーツ（フルーツカット、豆乳プリン、カステラ）など、いろいろな食べ物があつたが、少しばかり値段が張った。市場の飲食店で飲み食いする外国人の観光客が多いのはこのためなのだろう。黒門市場では飲食をする学生の姿をほとんど見なかったし、よほどお金に余裕があるときでないと学生は来られないだろう（森田竜也）。



写真 6．黒門市場に行きました。

日本橋

まず、二手に分かれた。1組目は堺筋の大通りから難波方面に入った路地、2組目は大通りでインタビューを行った。2組目の場合は、あまり外国人観光客もいなかったため、ほとんどが日本人であった。また地元の人が多かった。インタビューを行おうとしてもなかなか立ち止まってもらえず、インタビューを行うことが困難だった。何人かの外国人に声をかけたが、ほとんど断られて心が折れそうになった。1組目は3組にインタビューを行い、1組に断られた。アイルランドの男性2人組は、通天閣を見るために日本を訪れた。日本橋を訪れたのは偶然だそうだ。大阪の印象は素晴らしいと言っていた。

印象に残ったことでは、「日本人の眉毛はゲジ眉である」と言っていたことである。日本に来て食べた料理はバンミであり、お土産に酎ハイを買って帰るそうだ。カップルで来ていたアメリカ人2人は、10年間日本に住んでいるそうだ。新しい携帯を買うために日本橋を訪れた。大阪の料理は日本の中で一番おいしく、日本に来て食べた料理は 551 だそうだ（桑原あかり）。



写真 7. 日本橋



写真8. アニメ店が並ぶ。



写真9. インタビューに疲れ果てて・・・。

外国人観光客は大阪に来て何を感じたのか？

最後に外国人がなぜ大阪に来たのか、大阪のどんな所に魅力を感じたのか、インタビューの結果を集約する（表1）。

第1に、国別にみると、アメリカ（ハワイを含む）が4組、オーストラリアが1組、韓国、カナダ、インドネシア、スペイン、アイルランドがそれぞれ1組であった。今回のインタビューの中では、アメリカから訪れる人が最多であった。

第2に、誰と来たかである。これについては、1人で来た人5組、夫婦と家族がそれぞれ2組、友人と来たのが1組、関係が不明なのが1組であった。意外にも1人で訪れる人が多いようだ。

第3に、日本を訪れた理由である。日本に10年住んでいる人や神戸の大学で歌劇を作っている人がいた。その他にも、日本語を習っていたり、家族で1度来たことがある人もいた。日本が好き、日本の文化や食べ物に興味がある、東京、大阪、京都を訪れる人、通天閣を見に来る人もいた。日本を訪れる理由はさまざまであった。

第4に、何をみて日本を訪れることを決めたかである。ウェブサイトやインターネットをみた人が4組、YouTubeなどの動画サイトを見た人が2組、SNSを見た人、偶然訪れた人が1組、大阪周辺に住んでいる人が3組であった。インタビューをした人の中に在住者がいるのは驚きであった。

第5に外国人が感じた大阪の印象である。素晴らしい、美しい、親切、食べ物がおいしいといったプラスの印象が多い中で、バイクが多い、人が多いといった印象もみられた。これは私たちが感じることと同じであった。

第6に、日本を訪れて驚いたことである。フレンドリーで親切、やさしい、礼儀正しいということに驚いている人がいるなかで、人が多いことやバイクが多いこと、ごみ箱が少ないこと、包装が過剰なことに驚く人もいたようだ。外国人がいうバイクというのはもしかしたら自転車のことなのかもしれない。外国人が感じているように、確かに日本は街中で気軽にごみを捨てるのが難しいと感じる。

第7に、外国人が日本に来て食べた物である。最も多かったのはたこ焼き（5組）で、続いてラーメン（4組）であり、2組の人が刺身を食べていた。その他にも寿司、餃子、焼肉などを食べている人もいた。やはり、大阪のソウルフードであるたこ焼きは多くの人が食べるである。私たちは普段たこ焼きを買って食べることはあまりしないかもしれない。

最後に外国人が買ったお土産である。日本人形や将棋、浴衣、日本茶など日本特有のものを買う人が多くいるなかで、チョコレートやスナックなどの食べ物を買う人もいた。日本に住んでいるからという理由からなのかもしれないが、お土産は買わないという人も3組いた。私自身、旅行先でお土産を買うことがあまりない。だから、買わないということも1つの選択肢であると考え。大阪のものというよりは日本らしいものをお土産にする傾向があるようだ。

インタビューを通して、日本人と考え方はそんなに変わらないのではないかと感じた。外国人が感じていることは、少なからず日本人も感じていることなのである。しかし、異国の地を訪れているという特別感がたこ焼きを食べることや、日本特有のお土産を購入することにつながっているのかもしれない。ゴミ箱や過剰な包装などは外国人にインタビューをしてたしかにそうだと納得した点である。日本で生活していれば当たり前だと思うことを彼らに気づかされたのである（岡志穂美）。

表1 大阪フィールドワーク・アンケート一覧

場所	性別	関係	人	出身地	日本を知ったきっかけ	どんなサイトで知ったのか？	大阪の印象	驚いたこと	日本で食べたもの	お土産に買う物
大阪城	男女	夫婦	2	オーストラリア	大日本の文化	インターネット	暑い	人が多い	刺身 饅頭 お好み焼き	日本人形
大阪城	男女	家族	5	韓国	家族で一度来たことがある	SNS、トラベルブック	きれいな、親切、暑い、市場が美味しい(刺身)		刺身 ラーメン ローソン セブンイレブン	祇園の特産物 サロンパス アクセサリー
大阪城	女	1人	1	アメリカ	神戸の大学で歌劇を創っている	神戸大学	美しい	フレンドリーで親切	たこ焼き	Tシャツ
大阪城	？	1人	1	ハワイ	食べ物 文化	ウェブサイト	すばらしい	優しい	寿司 天ぷら たこ焼き	カップヌードル チョコレート
大阪城	男女	友人	5	スペイン	日本が好き	ウェブサイト	？	礼儀正しい	たこ焼き ラーメン 餃子	浴衣 将棋
大阪城	男	1人	1	カナダ	飛田新地	動画	バイクが多い	バイクが多い	たこ焼き	買わない
道頓堀	男	1人	1	インドネシア	東京 大阪 京都	ウェブサイト	人通りが多い	人通りが多い	ラーメン 焼肉 うどん	スナック 服
道頓堀	女	1人	1	アメリカ	日本語を習っている	先生に教えてもらった	カラフルで人が多い	ゴミ箱が少ない	パフェ	無し
道頓堀	女	？	4	オーストラリア	買い物と食べ物	ユウチュウブ	清潔	空港で並ぶ列が長い 包装が過剰	唐揚げ ラーメン たこ焼き アイス	日本茶
日本橋	男女	夫婦	2	アメリカ	日本に10年住んでいる	携帯電話の購入	ご飯が一番おいしい	(アメリカの)朝ごはん文化がない	551の肉まん	無し
日本橋	？	？	？	アイルランド	通天閣を見に来た	偶然	素晴らしい	眉毛が薄い	パンミ	チューハイ

出典：筆者らのインタビューによる。

資料1 当日用いたアンケート用紙

大阪フィールドワーク 2018年5月27日(日) 天気: _____ 記録者: _____

集合: 地下鉄森ノ宮駅に9時半。大阪城にゆく。11:00に森ノ宮駅出発、11時10分に心斎橋着、15時心斎橋発、15:20日本橋着、お宅の場所でインタビュー、16時日本橋、16:05に恵美須町、新世界で散策し、インタビュー、18時に串カツ。解散。

インタビュー (1か所 3-7人×4か所)。記録場所 _____ 時刻: _____

1. 挨拶、自己紹介、出身地を聞く。年代と性別と人数を記録する。____十代 男・女 ____人。
Excuse me? Hello. We are coming from Hannan University. We are now studying about tourism, and we are now asking tourists why you are come to Osaka. Can I ask some questions?

2. 出身地 Where are you from? Which country you are from?

3. 日本を知ったきっかけは何ですか? どうして日本を旅行先にしたのですか?
Why do you visit here? What is your reason for coming to Japan?

4. 何を決め手に訪れたのか? どんな情報(サイト)を見てここに来たのですか?
How did you find out about this place? Guide book, website, or SNS?

5. 大阪の印象はどうですか? What is your impression of Osaka?

6. 印象に残ったこと、おどろいたこと。Were you surprised by anything in Japan?

7. 日本に来て何を食べましたか? What kind of food did you have in Osaka?

8. 何をお土産に買いますか? What souvenirs will you buy?

Thank you very much for your cooperation. Have a nice trip.

フィールドワークに行ってわかったこと

それぞれの場所を訪れてみて、そこを訪れる外国人観光客の訪問目的がまったく違うことがわかった。道頓堀では買い物が多く、大阪城では学び、日本橋ではぶらり旅であった。また、それぞれの場所で彼らが私たちに答える対応の仕方も異なった。日本橋ではふざけている感じで、道頓堀ではなかなか答えてくれず、大阪城ではフレンドリーだった。そして、場所によって人の感じが違ってびっくりした。大阪城の人は温かい、難波の人は冷たい、日本橋の人は謎である。もしかしたら、大阪城であった同じ外国人観光客が道頓堀や日本橋に来ているのかもしれないので、話しかければ親切にみな答えてくれたのかもしれない。だが、それぞれの場所ごとに話しかけやすさが微妙に違うと感じたのは、もしかしたらその場所の持つ雰囲気のせいなのかもしれない。

フィールドワークに行ってみて、大阪には想像以上に歴史的な魅力があった。そして、食べ物屋さんが多く、人が多かった。外国人も多かった。全体的にアジア系が多く、日本橋には電気屋さんが多かった（高瀬里佳子）。



写真 10 最後はとうとう日本人にインタビューした。

あとがき

大阪フィールドワークは今年で 2 回目となる。今年は大阪の街をゆく外国人にインタビューした。渡辺ゼミで、そんなことを言い出したのは、この学年が初めてだった。

とはいえ、やはりいきなり英語で話しかけるのはハードルが高かったようだ。ちゃんと質問用紙を用意していても、大阪城のようなのんびりした所では声をかけられても、道頓堀のような混雑した人の流れのはい所では、学生だけでは声をかけられなかった。まあ、このあたりは経験なのだろう。日本人相手に日本語で声をかけるのも、相当ハードルが高い。ましてや、慣れない英語でよくやったと思う。

外国人の視点で日本の街を歩くとおもしろい。私はよく外国から来日された先生を、研究会のあと、街歩きに連れてゆく。そんなことを何度かやって気づいたことがある。

まず、どこに行きたいと聞くと、彼らは博物館や代表的な観光地をあげることが多い。それは、そこが手っ取り早くその国の文化を知ることができるからである。ただ、いかにも観光客向けの場所だけが彼らの関心を引くわけではない。われわれが外国に行った時のように、街を歩き、その国の普通の日常を見ているのがおもしろいという。

東京では、浅草寺のおみやげ物屋よりも、商店街の瀬戸物屋に興味を持った先生方がいた。〇〇焼と呼ばれるものではない。われわれがご飯を食べる数百円の茶碗をいくつか買って帰られた。道頓堀を案内した時でも、薬屋の上にある観覧車に乗ってみたいと言われたことがある。そんな所にそんなものがあることすら知らなかったのも、とても新鮮だった。自文化には、当たり前すぎて気づかないことがある。外国の方と一緒に地元を歩くと、自分がいかに地元のことを知らなかったのかを教えられる。

外国の人を案内すると、その方の人間性がよくわかってよい。会話に詰まると、お互いの研究のことを話すしかなくなる。論文からはわからない彼らの若い頃の話聞くこともある。この先生の原点はこんな所にあったのかとよくわかるのである。しかも、こちらが案内したことに彼らは謝意を抱いている。今度、〇〇に来たらうちにおいでよ。そうやって人間関係ができてゆくのである。ビジネスをする人が来日したお客さんをあちこち連れ回すのもよくわかる。お互い商売上のメリットがあるのだろう。

来年はネパールから友人が家族で来日する。学生たちに交代で案内させれば、彼らも少しはアジアの文化に関心を持つかもしれない。そう思うようになった（渡辺和之）。

渡辺和之（編）『大阪フィールドワーク：訪日外国人へのインタビューを試みる』（2018 年度前期大学入門ゼミ報告書）阪南大学国際観光学部渡辺ゼミ，2019 年 4 月 30 日発行。

住所 〒580-0033 大阪府松原市天美南 1-108-1

E-mail watanabe@hannan-u.ac.jp

URL <https://www.hannan-u.ac.jp/doctor/tourism/watanabe/mrrf4300000285rc.html>
